



学校だより

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和7年2月3日

大田区立糎谷中学校

校長 佐藤 太 No. 10

自ら学び考えることができる生徒 感性豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康な生徒



粘り強く、進むべき方向に向かって・・・糎谷中学校の紅白梅から

校長 佐藤 太

2月（如月）。2月に入り、暦の上では2日までが一年で最も寒い季節の「大寒」、今日3日は「立春」、冬が終わって春の季節へと動き出す季節です。暦の上では春の訪れということですが、まだまだ寒い季節は続きます。この時期に、校長室の窓から体育の持久走の授業で、生徒が校庭を懸命に頑張っている姿や、生徒同士の「がんばれ」「もう少し」と励ましの声を掛け合う姿があり、うれしく思います。寒さに負けず、健康な体を作り、怪我や病気には十分注意しながら元気に過ごしてください。

さて、本校の北側校舎の花壇には、梅の木、桜の木があります。先週、その梅の木が花を咲かせました。きれいな白梅と紅梅の花です。「梅一輪 一輪ほどの暖かさ」の俳句にもあるように、一輪ごと花が咲くにつれ、少しずつですが、確かに季節は移っていると手ごたえを感じます。

「梅」は、冬の寒気に耐えながらも数多くある花に先がけて、一番初めに花を咲かせる木です。厳しい寒さの日が続いていても、どの花よりも早く開花に向けた粘り強い準備を進め、自分の花を咲かせます。梅の花そのものにも、潔く凜とした姿や気品を感じさせます。梅の木のように、糎谷中生一人一人が寒さに負けず、自分の進むべき方向に真っ直ぐ進み、さまざまな厳しいことがあっても乗り越え、その先には、自分が納得できる花を咲かせてほしいと思います。

特に3年生は、寒さの続く2月中旬、下旬と私立高校・都立高校の一般入試が目前にあります。まさに試練のときですが、厳寒の中でも花を咲かせる梅の木のように、これまで自分が準備して取り組んできたことを信じて、もてる力を出しきってください。不安や心配は、受験生の誰もが抱えているはずで、自分だけではありません。焦らず、慌てず、平常心で自分の目標に向かって全力を尽くすのみです。実力を発揮できることを祈願しています。

そして、2年生にとっては、進路決定が1年後の現実問題となりました。推薦入試を考えている生徒には1年間ありません。2年生は1年後の姿、1年生は2年後の姿を想像して、我が身を振り返り、日々の学校生活や授業にしっかり身を入れていってください。受験や推薦入試に臨む土台にあるものは、これまでの自分の糎谷中学校での学校生活のルール順守や授業を真剣に受けているかなど、糎谷中学校での当たり前前の生活や学習が大事で、そこに至るまでの学校生活や学習の積み重ねが、ものを言うものです。一人一人が当たり前前を大事にする日々を送ってください。

今月中旬には、社会科見学で1年生は鎌倉校外学習、2年生は都内めぐりがあります。これまで事前学習を生かし、協力と責任をもって行動し、各学年の行事の成功に繋げてください。そして、2月末には、今年度最後の定期考査があり、1年のまとめの時期になります。生徒の皆さんも、今、目の前にあることや、1年間の集大成のまとめなど、自分が目指すものへ、全力を傾けて、次へのステップの準備や力を蓄えることにつなげてください。

糎谷中生一人一人が、大小の坂道があっても自分が納得できる花を咲かせてほしいと思います。

※ 1月の最終週は生徒発表会【展示部門】は、これまで学習や活動の成果を作品やレポートにまとめたり、制作したりと見応えある力作ぞろいでした。生徒一人一人の創意・工夫や感性など個性あふれる表現で、保護者・地域の皆様からも好評の声をたくさんいただきました。保護者・地域の皆様、生徒発表会展示・土曜公開授業のご参観ありがとうございました。

2月も本校の学習や諸活動に励む生徒のご支援・ご理解をどうぞ、よろしくお願いいたします。

